

平成 25 年度 理学療法学科（夜間部）
教育課程編成委員会議事録

1. 委員会名 第二回教育課程編成委員会

日時：平成 25 年 2 月 4 日（火） 19：30～20：00

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会理事〔田無病院副診療部長〕）

下川部 雅也（山田記念病院技師長、理学療法学科卒業生）

内野 滋雄（臨床福祉専門学校 学校長）

石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科 学校長）

神田 太郎（臨床福祉専門学校 理学療法学科 副学科長）

萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務次長）

金子 学（臨床福祉専門学校 学務課長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務主任）

2. 議事要約

議題：[学生の“疑問”を喚起するための施設実習の実現に向けた具体的方策について]

■普段、実習を受け入れている施設側の立場から、学生が資格を目指す動機が見えにくくなりつつあることを感じており、実習時期の検討のために在校生の主な志望理由を知りたいとの質問があった。

①本人・家族が過去に理学療法士のリハを経験、②他人（家族・知人等）からの勧め（＝自分では進路を決められない）③就職難でとりあえず何かしらの資格を目指す、主なところでこの3点に集約されている現状が説明された。

■実習の目的意識が希薄な学生が増加している印象のため、見学実習の前に学習の目的意識を喚起するような取り組みを導入できないかという意見があり、実習前に合宿を取り入れるという案が学科サイドから提案された。

障害者や患者と共に過ごす場を共有する機会を作ることで、見学実習の目的を明確化させる効果が期待できるが、昼夜間部合同となると150名規模の学生の宿泊場所の確保が必要になる。8月の見学実習前という時間的な制約に鑑み、26年度の実施はかなり困難との見解にまとまった。しかし、26年度の秋に策定する27年度年間暦の中で予定として明確に位置づけ、準備を進めていくこととなった。

■見学実習前に医療施設から現役の理学療法士が学校に招いて、理学療法士を目指す動機付けをはっきりさせることを目的とした特別講義をすることも考えられるとの意見が委員の側から提案された。

これについては、学科で担任予定教員に内容を協議させると回答。実施時期としては6月を軸に調整する。講師は中村・下河辺の両委員が担当するか、もしくは協力の得られそ

うな現役 PT をご紹介いただく。

■施設見学について、学校側からより方針や意図を明確にさせていただけるとありがたいとの要望があった。

3. 教育課程編成委員会の意見の今後の活用

- ・ 見学実習前に合宿を実施するプランは、昼夜間部の学生が一堂に会する会場の確保や、障害者の方の確保、関係医療機関との意見調整などを考慮すると、26年度の見学実習前に準備不足のまま実施することは逆にリスクを伴う。そのため、27年度の実施へ向けて検討していく。
- ・ 病院で勤務する現役の理学療法士を招聘し、2時間程度の特別講義を6月に開講する。開講目的は、見学実習前に学生の学習意欲を一定レベルに平均化することを狙いとする。学校の機関決定によって実施することが決定した場合には、講師は中村・下河辺の両委員もしくは関係のある理学療法士に担当して頂く。学科にて新入生の担当予定教員を中心に講義内容のメニューを検討し、4月もしくは5月の学科長会議に答申する。

以上